

Focus in 南島原 まちの話題



市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。



1 マリンフェスタinくちのつ 花火大会

1 3年ぶりに夏のイベントが開催

7月24日に「マリンフェスタinくちのつ2022」が口之津港緑地公園で開催されました。会場ではイルカウォッチング特別便、芸能祭など盛りだくさんのイベントが行われました。

太鼓による勇壮な演奏を披露した、瀬詰太鼓保存会の鬼山優真さんは「3年ぶりとなるイベントで、お客さんの前で披露することができて嬉しい」と話し、フィナーレには2,000発もの打ち上げ・水中花火が口之津港の夜空を彩りました。

また、8月16日には「第54回かづさ花火大会」が加津佐前浜海水浴場で開催され、来場者は夏の夜空の大輪に見入っていました。



マリンフェスタinくちのつ 芸能祭での太鼓演奏



第54回 かづさ花火大会



2 口加ライオンズクラブが時計台を寄贈

口加ライオンズクラブが結成40周年を記念し、口之津港ターミナルに時計台を寄贈されました。

中島浩平代表(寄贈時)は「社会貢献活動の一環として、ターミナル利用者の利便向上のため寄贈させていただきました。薬物乱用防止のメッセージも発信しているので、明るい社会づくりの一助になることを期待しています」と話しました。



3 海洋ごみ削減へ「拾い箱」を設置

公益財団法人B&G財団の支援を受け、加津佐B&G海洋センター艇庫前に九州では初めてとなる「B&G拾い箱」が2棟設置されました。

7月16日にお披露目式が行われ、同財団の菅原理事長は「素晴らしい南島原の海をきれいに保つために、ごみがあったら拾い箱に捨ててください」と子どもたちに呼びかけました。

また、拾い箱のペイントデザインを担当した尾崎さんによるペイントイベントも同日に行われ、子どもたちがペンキを使って絵を描き、色鮮やかな拾い箱が完成しました。



4 市中学生弁論大会で小淵さんが最優秀賞

7月28日に第72回「社会を明るくする運動」市中学生弁論大会がありエコレジヨホールで開催され、市内各中学校の代表16人が命の尊さ、地域や人とのつながり、支え合いなど明るい社会づくりについて日頃から実践していること、感じていることを熱くうたった。ニュースで知り得た「いじめ」の問題に焦点をあて「少しの勇気」と題して発表した、小淵凛香さん(南有馬中3年)が最優秀賞に輝きました。おめでとうございます。

ニューズで知り得た「いじめ」の問題に焦点をあて「少しの勇気」と題して発表した、小淵凛香さん(南有馬中3年)が最優秀賞に輝きました。おめでとうございます。



最優秀賞に輝いた小淵さん(南有馬中3年)

6 木村優仁さんが内閣総理大臣感謝状を受彰

本市行政相談委員を務める木村優仁さん(有家町)が多年にわたって積極的に相談活動や行政相談委員制度の発展に努めた功績が認められ、内閣総理大臣感謝状を県内で唯一受彰されました。

木村さんは平成13年から行政相談委員として、全国的にも珍しい、相談所の夜間開設やスマートフォンサイト「くらしの総合相談所」の運営をはじめ、高校での出前教室、地元ラジオへの出演・新聞寄稿といった広報活動など、21年にわたり地域住民と行政との架け橋として精力的に活動されています。

受彰報告のため、市役所を訪問された木村さんは「思いがけない賞をいただき大変ありがたい。これからも困っている人々に手を差し伸べるために取り組んでいきたい」と今後の抱負を述べました。



5 ポンプ操法大会で練習の成果を披露

8月7日に長崎県消防学校で開催された「第37回長崎県消防ポンプ操法大会」に、市の代表として市消防団有家地区団が「小型ポンプ操法の部」に出場しました。

有家地区団が掲げたスローガン「力戦奮闘」のごとく、コロナ禍において南島原消防署員のサポートのもと、選手のみならず団員が一丸となり練習を重ね、大会当日は気合いのこもった操法を披露しました。



左から、長崎行政監視行政相談センター 森永所長、木村さん、松本市長